

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 8 日 (2006.6.8)

【公表番号】特表 2005-529896 (P2005-529896A)

【公表日】平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)

【年通号数】公開・登録公報 2005-039

【出願番号】特願 2004-500768 (P2004-500768)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/23 (2006.01)

A 6 1 K 31/695 (2006.01)

A 6 1 P 33/14 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/23

A 6 1 K 31/695

A 6 1 P 33/14

A 6 1 P 43/00 1 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 14 日 (2006.4.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外部寄生虫が存在する部位に局所投与することにより患者の外部寄生虫を殺すための医薬組成物であって、前記組成物は、25%～70% w/w の量で提供される脂肪酸エステルを含み、存在する外部寄生虫を殺すのに有効量の他の薬剤を含まないことを特徴とする医薬組成物。

【請求項 2】

さらに環状シロキサンを含む、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 3】

シロキサンが、デカシクロメチコン、オクタメチルシクロメチコン、シクロテトラシロキサン、シクロペンタシロキサン、およびシクロヘキサシロキサンからなる群から選択される、請求項 2 記載の医薬組成物。

【請求項 4】

シロキサンがデカシクロメチコンである、請求項 3 記載の医薬組成物。

【請求項 5】

脂肪酸エステルが、ミリスチン酸エステル、ラウリン酸エステル、パルミチン酸エステル、およびステアリン酸エステルからなる群から選択される、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 6】

脂肪酸エステルがミリスチン酸イソプロピルである、請求項 5 記載の医薬組成物。

【請求項 7】

シロキサンがデカシクロメチコンであり、脂肪酸エステルがミリスチン酸イソプロピルである、請求項 2 記載の医薬組成物。

【請求項 8】

組成物がさらに S - メソブレンを含む、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 9】

前記外部寄生虫が、シラミ、ダニ、マダニ、およびノミからなる群から選択される、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 10】

患者が哺乳類である、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 11】

哺乳類がヒトであり、外部寄生虫が頭シラミである、請求項 10 記載の医薬組成物。

【請求項 12】

哺乳類がイヌまたはネコであり、外部寄生虫が、ノミ、マダニまたはダニである、請求項 10 記載の医薬組成物。

【請求項 13】

さらにメクチンを含む、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 14】

メクチンがイベルメクチンである、請求項 13 記載の医薬組成物。

【請求項 15】

さらにマイシンを含む、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 16】

マイシンがミルベマイシンである、請求項 15 記載の医薬組成物。

【請求項 17】

患者の外部寄生虫を殺すための薬剤を製造する方法であって、

(a) 25% ~ 70% w/w の濃度の、かつ患者の外部寄生虫が存在する領域に薬剤を適用したときに他の薬剤を加えることなく外部寄生虫を殺すのに十分な量の脂肪酸エステル；および

(b) 局所投与において用いるのに適した医薬的に許容可能な溶媒、キャリア、バッファ、または賦形剤、

を混合することにより、医薬的に許容可能な組成物中の薬剤を提供する、ことを含む方法。

【請求項 18】

患者の外部寄生虫を殺すための薬剤を製造する方法であって、

(a) 少なくとも 10% w/w の濃度の、かつ患者の外部寄生虫が存在する領域に薬剤を局所的に適用したときに外部寄生虫を殺すのに十分な量の、前記外部寄生虫を殺すための単一の薬剤であって、ミリスチン酸エステル、ラウリン酸エステル、パルミチン酸エステル、ステアリン酸エステル、アラキジン酸エステル、ベヘン酸エステル、リグノセリン酸エステル、パルミトレイン酸エステル、オレイン酸エステル、リノレイン酸エステル、リノレン酸エステル、およびアラキドン酸エステルからなる群から選択される脂肪酸のエステルからなる単一の薬剤；および

(b) 局所投与において用いるのに適した医薬的に許容可能な溶媒、キャリア、バッファ、または賦形剤、

を混合することにより、無アルコールの医薬的に許容可能な組成物中の薬剤を提供する、ことを含む方法。

【請求項 19】

外部寄生虫が、シラミ、マダニ、およびノミからなる群から選択される、請求項 17 または 18 に記載の方法。

【請求項 20】

患者が哺乳類である、請求項 17 または 18 に記載の方法。

【請求項 21】

哺乳類がヒトであり、外部寄生虫が頭シラミである、請求項 20 記載の方法。

【請求項 22】

薬剤がさらにシロキサンを含む、請求項 17 または 18 に記載の方法。

【請求項 23】

シロキサンが、デカシクロメチコン，オクタメチルシクロメチコン，シクロテトラシロキサン，シクロペンタシロキサン，およびシクロヘキサシロキサンからなる群から選択され、脂肪酸エステルが、ミリスチン酸エステル，ラウリン酸エステル，パルミチン酸エステル，およびステアリン酸エステルからなる群から選択される、請求項 22 記載の方法。

【請求項 24】

シロキサンがデカシクロメチコンであり、脂肪酸エステルがミリスチン酸イソプロピルである、請求項 23 記載の方法。

【請求項 25】

脂肪酸エステルがミリスチン酸イソプロピルである、請求項 17 または 18 に記載の方法。

【請求項 26】

組成物がさらにメクチンおよび / またはマイシンを含む、請求項 17 または 18 に記載の方法。

【請求項 27】

組成物がさらに S - メソブレンを含む、請求項 17 または 18 に記載の方法。

【請求項 28】

外部寄生虫感染を処置するためのキットであって、

(a) 70 % w / w 未満の量で存在する脂肪酸エステルおよびシロキサンを含む組成物であって、存在する外部寄生虫を殺すのに有効量の他の薬剤を含まない組成物；および

(b) 外部寄生虫を殺すためにキットに含まれる部材の使用法を記載した取扱説明書を含むキット。

【請求項 29】

シロキサンがシクロメチコンであり、脂肪酸エステルがミリスチン酸イソプロピルである、請求項 28 記載のキット。

【請求項 30】

組成物がさらにメクチンおよび / またはマイシンを含む、請求項 28 記載のキット。

【請求項 31】

さらに S - メソブレンを含む、請求項 28 記載のキット。

【請求項 32】

さらにシラミコムを含む、請求項 28 記載のキット。

【請求項 33】

外部寄生虫が存在する部位に局所投与することにより患者の外部寄生虫を殺すための医薬組成物であって、前記組成物はアルコールを含まず、かつ少なくとも 10 % w / w の濃度で前記外部寄生虫を殺すための単一の薬剤であって、ミリスチン酸エステル，ラウリン酸エステル，パルミチン酸エステル，ステアリン酸エステル，アラキジン酸エステル，ベヘン酸エステル，リグノセリン酸エステル，パルミトレイン酸エステル，オレイン酸エステル，リノレイン酸エステル，リノレン酸エステル，およびアラキドン酸エステルからなる群から選択される脂肪酸のエステルからなる単一の薬剤を含む、ことを特徴とする医薬組成物。

【請求項 34】

脂肪酸エステルが組成物中に約 50 % w / w の濃度で存在し、組成物がさらに環状シロキサンを約 50 % w / w の濃度で含む、請求項 33 記載の医薬組成物。

【請求項 35】

前記外部寄生虫が、シラミ，ダニ，マダニ，およびノミからなる群から選択される、請求項 33 記載の医薬組成物。

【請求項 36】

患者が哺乳類である、請求項 33 記載の医薬組成物。

【請求項 37】

哺乳類がヒトであり、外部寄生虫が頭シラミである、請求項 36 記載の医薬組成物。

【請求項 38】

哺乳類がイヌまたはネコであり、外部寄生虫が、ノミ、マダニまたはダニである、請求項 33 記載の医薬組成物。

【請求項 39】

前記外部寄生虫が、コロモジラミ、毛ジラミ、寄生ダニ、およびマダニからなる群から選択される、請求項 33 記載の医薬組成物。

【請求項 40】

環状シロキサンの、デカシクロメチコン、オクタメチルシクロメチコン、シクロテトラシロキサン、シクロペンタシロキサン、シクロヘキサシロキサン、およびデカメチルシクロペンタシロキサンからなる群から選択される、請求項 34 記載の医薬組成物。

【請求項 41】

前記脂肪酸エステルがミリスチン酸イソプロピルである、請求項 33 記載の医薬組成物。

【請求項 42】

前記環状シロキサンがデカシクロメチコンである、請求項 34 記載の医薬組成物。

【請求項 43】

さらにメクチンを含む、請求項 33 記載の医薬組成物。

【請求項 44】

メクチンがイベルメクチンである、請求項 43 記載の医薬組成物。

【請求項 45】

さらにマイシンを含む、請求項 33 記載の医薬組成物。

【請求項 46】

マイシンがミルベマイシンである、請求項 45 記載の医薬組成物。

【請求項 47】

組成物がさらに S - メソブレンを含む、請求項 33 記載の医薬組成物。

【請求項 48】

脂肪酸エステルおよびシロキサンの合計濃度が組成物の 100 % w / w より少なく、組成物がさらに S - メソブレンを含む、請求項 33 記載の医薬組成物。

【請求項 49】

外部寄生虫が存在する部位に局所投与することにより患者の外部寄生虫を殺すための医薬組成物であって、前記組成物は 25 % ~ 70 % w / w の量で提供される脂肪酸エステルを含み、存在する外部寄生虫を殺すのに有効量の他の薬剤を含まず、および外部寄生虫は寄生虫からろう状表皮がはがれることにより殺される、ことを特徴とする医薬組成物。

【請求項 50】

外部寄生虫が存在する部位に局所投与することにより患者の外部寄生虫を殺すための医薬組成物であって、前記組成物はアルコールを含まず、前記外部寄生虫を殺すための単一の薬剤を少なくとも 10 % w / w の濃度で含み、ここで、単一の薬剤は、ミリスチン酸エステル、ラウリン酸エステル、パルミチン酸エステル、ステアリン酸エステル、アラキジン酸エステル、ベヘン酸エステル、リグノセリン酸エステル、パルミトレイン酸エステル、オレイン酸エステル、リノレイン酸エステル、リノレン酸エステル、およびアラキドン酸エステルからなる群から選択される脂肪酸のエステルからなり；および外部寄生虫は寄生虫からろう状表皮が剥がれることにより殺される、ことを特徴とする医薬組成物。

【請求項 51】

脂肪酸エステルが組成物中に約 50 % w / w の濃度で存在し、組成物がさらに環状シロキサンを約 50 % w / w の濃度で含む、請求項 50 記載の医薬組成物。

【請求項 52】

ヒトを除く動物の外部寄生虫を殺す方法であって、前記外部寄生虫が存在する部位に、25 % ~ 70 % w / w の量で提供される脂肪酸エステルを含む組成物を局所投与することを含み、前記組成物は、存在する外部寄生虫を殺すのに有効量の他の薬剤を含まず、および死んだ外部寄生虫はシラミコームを用いて動物から除去される、ことを特徴とする方法。

【請求項 53】

ヒトを除く動物の外部寄生虫を殺す方法であって、前記外部寄生虫が存在する部位に、ア

ルコールを含まず、かつ前記外部寄生虫を殺すための単一の薬剤を少なくとも10% w/wの濃度で含む組成物を局所投与することを含み、ここで、単一の薬剤は、ミリスチン酸エステル、ラウリン酸エステル、パルミチン酸エステル、ステアリン酸エステル、アラキジン酸エステル、ベヘン酸エステル、リグノセリン酸エステル、パルミトレイン酸エステル、オレイン酸エステル、リノレイン酸エステル、リノレン酸エステル、およびアラキドン酸エステルからなる群から選択される脂肪酸のエステルからなり、および死んだ外部寄生虫はシラミコームを用いて動物から除去される、ことを特徴とする方法。

【請求項54】

ヒトを除く動物において外部寄生虫を殺す方法であって、前記外部寄生虫が存在する部位に、25%～70% w/wの量で提供される脂肪酸エステルを含む組成物を局所投与することを含み、前記組成物は存在する外部寄生虫を殺すのに有効量の他の薬剤を含まず、および外部寄生虫は寄生虫からろう状表皮がはがれることにより殺され、および死んだ外部寄生虫はシラミコームを用いて動物から除去される、ことを特徴とする方法。

【請求項55】

ヒトを除く動物において外部寄生虫を殺す方法であって、前記外部寄生虫が存在する部位に、アルコールを含まず、かつ前記外部寄生虫を殺すための単一の薬剤を少なくとも10% w/wの濃度で含む組成物を局所投与することを含み、ここで、単一の薬剤は、ミリスチン酸エステル、ラウリン酸エステル、パルミチン酸エステル、ステアリン酸エステル、アラキジン酸エステル、ベヘン酸エステル、リグノセリン酸エステル、パルミトレイン酸エステル、オレイン酸エステル、リノレイン酸エステル、リノレン酸エステル、およびアラキドン酸エステルからなる群から選択される脂肪酸のエステルからなり、および外部寄生虫は寄生虫からろう状表皮がはがれることにより殺され、および死んだ外部寄生虫はシラミコームを用いて動物から除去される、ことを特徴とする方法。

【請求項56】

ヒトを除く動物の外部寄生虫を殺す方法であって、前記外部寄生虫が存在する部位に、25%および70% w/wの量で提供される脂肪酸エステルを含む組成物を局所投与することを含み、前記組成物は存在する外部寄生虫を殺すのに有効量の他の薬剤を含まず、前記組成物はさらにS-メソブレンを含み、および外部寄生虫の卵はシラミコームを用いて動物から除去される、ことを特徴とする方法。

【請求項57】

ヒトを除く動物において外部寄生虫を殺す方法であって、前記外部寄生虫が存在する部位に、アルコールを含まず、前記外部寄生虫を殺すための単一の薬剤を少なくとも10% w/wの濃度で含む組成物を局所投与することを含み、ここで、単一の薬剤は、ミリスチン酸エステル、ラウリン酸エステル、パルミチン酸エステル、ステアリン酸エステル、アラキジン酸エステル、ベヘン酸エステル、リグノセリン酸エステル、パルミトレイン酸エステル、オレイン酸エステル、リノレイン酸エステル、リノレン酸エステル、およびアラキドン酸エステルからなる群から選択される脂肪酸のエステルからなり、前記組成物はさらにS-メソブレンを含み、および外部寄生虫の卵はシラミコームを用いて動物から除去される、ことを特徴とする方法。